

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		循環制御内科学研究		永瀬 聡
開講年次	共通/専攻/選択		単位数	
1~4	必須専攻		20	
目的				
<p>(1) 広い見地に立った研究を遂行できるよう、循環器内科学・腎臓病学において必要とされる専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。</p> <p>(2) 生命医学の正確な知識に基づき「科学的な視点から」循環器病学・腎臓病学の基礎と本質を学ぶ。</p> <p>(3) 学問に対する強い探究心を持ち、常に目的意識を持って循環器領域の諸問題に対し挑戦し、問題解決を成し遂げることができるのみならず問題を発見することができる人材を育成する。</p>				
授業到達目標				
<p>(1) 循環器疾患・腎疾患の診断にいたる診察法および検査法に精通し、薬物治療法を含む非侵襲的治療法およびカテーテル手技を含む侵襲的治療法を理解する。</p> <p>(2) 循環器領域の基本検査である心電図の記録法および一般的読影法に精通する。腎疾患に伴う動脈硬化や貧血といった代謝異常に伴う病態を説明できる。</p> <p>(3) 心血管疾患の診断、治療に関する最近の研究の動向を説明できる。</p> <p>(4) 心・腎連関の病態生理と治療に関する最新知見を説明できる。</p> <p>(5) 不整脈に伴う心機能不全や致死的不整脈の病態と治療に関する最新知見、技術を具体的に説明できる。</p> <p>(6) 冠動脈生理に関する研究の技術を具体的に説明できる。</p> <p>(7) 冠動脈内治療の血管内皮細胞に与える影響に関する研究の技術を説明できる。</p>				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	火	15:00 - 17:00	永瀬 聡 大城 義之 大澤 和宏	循環器疾患や腎疾患の代表的論文や新知見を紹介する。
評価方法				
<p>(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。</p> <p>(2) 2年次に中間発表で発表する。</p> <p>(3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講]</p> <p>(4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。</p>				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
循環制御内科学研究報告書作成時に、指導・助言を行う。				
教科書				
<p>ISBN-9780323463423, Braunwald's heart disease : a textbook of cardiovascular medicine &lt;2 volume set&gt; (11th Edition), D.Zipes, P. Libby, R.Bonow, et al., Elsevier, 2018</p> <p>ISBN-9780198708605, Oxford textbook of clinical nephrology, edited by managing editors Neil Turner, et al. ; section editors William G. Bennett, Oxford University Press, 2016</p>				
参考書				
<p>ISBN-9784883788910, 内科救急診療指針 2016, 日本内科学会認定医制度審議会救急委員会編, 日本内科学会, 2016</p> <p>ISBN-9784521731537, 最新循環器診療マニュアル, 友池仁暢 (総編集), 中山書店, 2009</p> <p>ISBN-9784830616976, 臨床心エコー図学 (第3版), 吉川純一 (編集), 文光堂, 2008</p>				
準備学習 (予習・復習等)				
上記参考書や最新の論文をもとに、自身の診療に関わる基礎的な理解を得ておくこと。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
学術研究が国民からの信頼、負託に応えるものであることを理解し、高い倫理観を身につける。				
注意事項・メッセージ				
今回の研究結果が臨床応用可能となることが望まれます。				